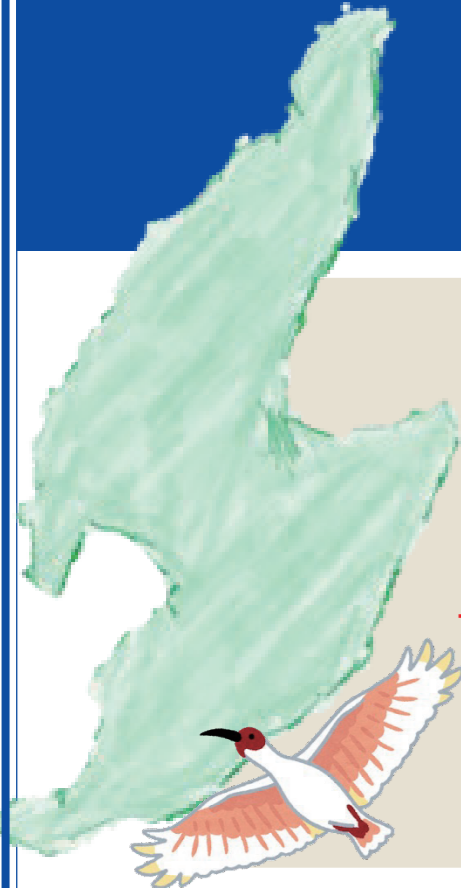


佐渡市の現状

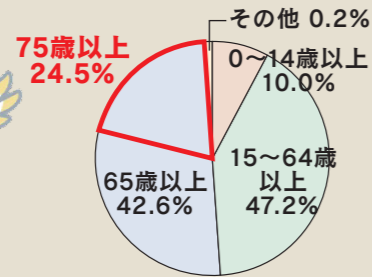
佐渡市に関するさまざまなデータを集めて、この島の今の姿を探ってみました。
この島の住民として、安心した老後、若者が希望を持てる未来のために、
何ができるでしょうか。

©2023 一般社団法人佐渡地域医療・介護・福祉提供体制協議会 | SADO Change The Future Project | Supported by NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING, Inc.



★1 人口構成

2023年8月31日時点で49,755人。年々減少し、ついに5万人を切りました。75歳以上の高齢者が住民の1/4を占めています。



★2 世帯割合

65歳以上の市民のうち、18.4%は単身世帯です。75歳以上で見ると19.4%に増え、10人のうち約2人は単身世帯です。年々、一人で暮らす高齢者は増えています。

〈65歳以上親族のいる世帯割合〉

単身世帯 29.2% 夫婦のみ世帯 25.5% 複数世帯 45.3%



医療機関の状況

佐渡市では、急患や重症な病気に対する治療や手術を行う病院は2か所しかありません。

市民にとってアンケート結果から、市外へ移り住みたい人の最も多い理由は「医療・福祉体制が不十分だから」です。

実は、病院のベッド数は不足しているわけではない！ ただし、重症化や家庭の問題から入院が長引く患者が増えると、対応できなくなるかも…

令和5年度6月現在の医療機関数

【相川圏域】
診療所 2か所
歯科診療所 2か所

【両津圏域】
診療所 3か所
歯科診療所 5か所

【国中圏域】
診療所 13か所
歯科診療所 13か所

【南部圏域】
診療所 4か所
歯科診療所 4か所



★4 第1号被保険者の高齢者が現在治療中、又は後遺症のある病気

(要介護認定受けていない方)

- 第1位 高血圧
- 第2位 目の病気
- 第3位 糖尿病
- 第4位 高脂血症



多くは、食事や運動、喫煙、飲酒などの生活習慣が深く関わっており、日ごろの生活で病を予防することができます。特に、高血圧は1/4もいます。

★5 介護サービス利用者

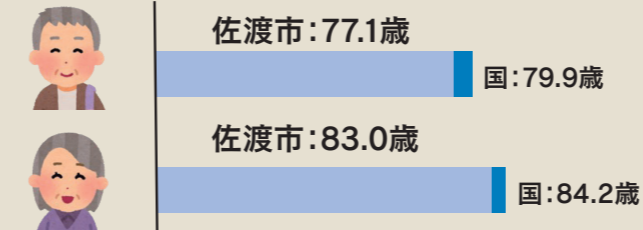
要支援または要介護認定を受けている人の割合：22.7%

認定率 75～84歳 18.8% 85歳～ 59.1%



ある施設では、入所者に何かがあったとき、すぐに駆け付けられる身内等がいる人は100人中たった6人でした。施設には単身世帯が多く入所しています。

★7 平均自立期間



平均自立期間、平均余命ともに、国や県に比べると佐渡市は少し低い状態にあります。



車社会のため、佐渡市民は運動量が非常に少ないです。日ごろから歩いたり、運動したりする習慣をつけると、平均自立期間はもっと長くなります。

健康診断を受診しない方もいますが、受診しても結果をきちんと見ていない方も多です。要受診の場合は、必ず医療機関を受診してくれば、早く対処できます。



出典

- ★1 佐渡市ホームページ「市の人口」
- ★2 国勢調査 2020年データ
- ★3 佐渡市総合計画に関する市民アンケート調査
- ★4・5 佐渡市高齢者保健福祉計画 第8期介護保険事業計画 (令和3年3月) 第1号被保険者のデータ
- ★6 聞き取り調査
- ★7 KDB (国保データベース) 健康スコアリング (介護)
- ★8 佐渡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン 令和4年3月改訂
- ★9 新潟県厚生連佐渡総合病院 佐藤病院長 講演資料より一部抜粋

2035年

人口 49,755人→37,630人

高齢者の割合は増え、65歳以上人口が生産年齢人口(15～64歳)を超えます。

単身世帯や高齢者のみ世帯は増え、一人でも暮らし続けられるよう準備が必要です。

【10年後減少するもの】

- ◆ 病院・診療所
- ◆ 医療・介護・福祉従事者 (特に医師)
- ◆ 各種サービス (24時間対応、福祉タクシー等)
- ◆ 働く人
- ◆ 佐渡の財源=公的サービス

様々な選択肢が減少



配食会社が減ってきているので、食形態が選べなくなります。



福祉タクシーが少なくなるため、家族の負担が大きくなります…家族がいない人はどうなるのか…



多くの診療所の院長が高齢化しており、跡継ぎが島内にいません。閉院する診療所もでてきます。



買い物がしにくくなると、食事が簡単なものになりがちです。長い目で見ると、健康リスクにつながります。



医療ニーズの高い方の入所が増え、重度化の傾向があります。訪問介護は難しくなっています。

身内がいない場合、救急搬送等の場合に困ります。遠方の家族には連絡しないと言われる方も多くいますが、その調整に時間を要します。

現在、佐渡市では人口減少を抑制するため、移住者の受入れ、出生率を上昇させるための子育てのしやすい環境作りなどに取り組んでいます。一方で全国的に医療従事者は不足しており、佐渡の医療・介護・福祉の提供体制も縮小傾向にあります。

★9 今後求められる機能やサービス

- 生活支援の視点
- 緊急対応できる体制
- 複数の医療機関で支える体制
- 円滑な情報連携



医療・介護・福祉従事者 少ない人数でも対応できるよう、業務の効率化、業務の見直しが必要です。

市民 日ごろから介護予防などに取り組み、医療や介護にかかるタイミングを考える必要があります。